

地域医療連携だより

きずな



泌尿器科

当科は、悪性腫瘍の腹腔鏡手術は積極的に行ってまいります。癌以外にも腎盂尿管移行部狭窄、尿管遺残、精巣静脈、副腎腫瘍なども腹腔鏡手術を取り入れてまいります。

外来担当

外来日	月	火	水	木	金
午前	原 藤川 菰部	原 菰部	輪番	原 藤川 菰部	原 藤川 菰部

外来担当表



主任部長

原 芳紀

(はらよしのり)

泌尿器科指導医
がん治療認定医

担当部長

藤川 直也

(ふじかわなおや)

泌尿器科指導医
がん治療認定医
泌尿器腹腔鏡技術認定

医師

菰部 勇太

(かりべゆうた)

泌尿器一般

近年、泌尿器科領域では、新しい技術や新薬がどんどん開発されており、目まぐるしく発展しております。

当科では常勤3人で診療にあたっておりますが、患者さんや地域医療に貢献できるようにできるだけ、新しい技術や最新の知見を取り入れたいと思っておりますので、ご紹介よろしくお願いたします。

積極的にご紹介いただきたい疾患

■ 前立腺癌

当院でも2021年7月から腹腔鏡下前立腺全摘(Laparoscopic radical prostatectomy, LRP)を導入しました。開腹手術と比較し腹腔鏡手術のメリットは、出血が少なく低侵襲であること、拡大視野で手術できるため機能温存や制癌効果を高めることが可能だと考えております。手術だけにこだわらず患者さんのニーズに合わせて放射線治療、ホルモン療法、経過観察療法など治療方針を決定していきます。

当院では施行できない治療(重粒子線治療、小線源治療、ロボット手術など)の希望者には責任を持って施行可能な施設を紹介します。

50歳以上の方には、積極的にPSA測定をしていただき、ご紹介いただけると幸いです。

■ 腎癌、腎盂尿管癌

腎がん、腎盂尿管がんは基本的に腹腔鏡手術を行っております(腹腔鏡手術が難しい場合は開腹手術を行います)。早期腎癌で適応のある方には、腹腔鏡下腎部分切除も行います。また、進行性腎がんには分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤による最新治療を行っております。

■ 膀胱癌

筋層非浸潤癌には経尿道的手術、進行がんには膀胱全摘、尿路変更、抗癌剤治療を行います。

■ 前立腺肥大症

前立腺肥大症に対する経尿道的内視鏡手術も積極的に行っております。今後はより低侵襲な経尿道的核出術を導入する予定です。

■ 尿管結石

尿管結石に対する治療は、レーザーによる経尿道的尿管結石治療、ESWL(体外衝撃波結石破碎術)を多数行っております。

■ 頻尿

過活動膀胱、夜間頻尿、夜間多尿、間質性膀胱炎など精査鑑別し必要な治療を提供します。

その他、ご不明な点はお気軽に当院にご連絡いただきご相談ください。

外来がん化学療法担当からのお知らせ

当院では、さらに安心・安全な抗がん剤治療を提供するために、地域の先生方との連携強化に向けたさまざまな取り組みを行っています。

■がん化学療法レジメンの公開

地域の医療機関や保険薬局と協力して、より質の高いがん化学療法をおこなうために、ホームページにおいて当院で実施している「がん化学療法レジメン」を公開しています。現状は投与される抗がん剤の種類や投与量などを掲載していますが、今後はさらに内容を充実させて有害事象などに関わる情報なども掲載していく予定ですので、ぜひご活用ください。

■がん化学療法情報提供書

当院では同意が得られた患者さんに対して治療の状況や有害事象の発現状況を記載した「がん化学療法情報提供書」を発行しています。これは、保険薬局の先生方との情報共有を主な目的としていますが、地域医療機関の先生方におかれましても日常診療や抗がん剤による副作用等で受診された際の診察の一助になれば幸いです。

【がん化学療法情報提供書の記載内容】

- 身長・体重・体表面積
- レジメン名、抗がん剤投与量、投与スケジュール
- 検査値
- 副作用の発現状況(Grade表記)
- 管理上必要な情報

№999999 0009912003 20210512

がん化学療法情報提供書 発行日：2021年05月12日
発行機関：小田 健夫

患者ID：0009912003
患者氏名：●オスト I N 2 0 0 3 種 年齢：46歳 性別：男性
身長：169.0 cm 体重：60.000 kg 体表面積：1.822 m² (測定日：2021/06/12)

レジメンの発注状況・検査書

レジメンコード・名称：30CRD10E 【大腸癌】XELOX 3 ケール目
投与名 (抗がん剤以外の薬剤情報は、お薬手帳レジメンシートを参照してください)
L17 フト点注射液100mg/20mL 200 mg
L17c 錠300mg 10錠 分2 朝・夕食後 14日分

検査値

WBC：4.5×10 ² (2021/5/12)	Hemt：48% (2021/5/12)	Hb：11.6 (2021/5/12)
PLT：13×10 ³ (2021/5/12)	T-BIL：3.7 (2021/5/12)	AST：12 (2021/5/12)
ALT：13 (2021/5/12)	Cre：0.7 (2021/5/12)	

有害事象 (CTCAE v5.0)

悪心	Grade1 食事に支障のない嘔吐以下
便秘	Grade1
口内炎	Gradeなし
下痢	Gradeなし
関節性動脈硬化	Gradeなし
手足麻痺	Grade1 感覚を伴わない軽微な麻痺の発現または麻痺の持続(浮腫、疼痛等無症)
末梢神経障害	Gradeなし
皮膚障害	Gradeなし
呼吸器障害	Gradeなし
腎臓障害	Gradeなし
その他	

上記のGrade 3、Grade 2のうちいずれでもない症状や3日以上以上の発熱が疑われる場合は病院へ連絡してください。

その他の医学・薬学的管理上必要な情報

レジメンや検査値に関する報告・報告のうえ開示を要しないものはトレーシングレポートをご参照ください。
レジメンに関する情報やトレーシングレポートについては小田健夫立腹症治療科のホームページをご参照ください。

小田健夫立腹症 薬剤科 0465-34-3175

■保険薬局の先生方へ

保険薬局で患者さんより「がん化学療法情報提供書」を提示された場合、記載されている情報を服薬説明、患者支援にご活用ください。また、有害事象や服薬状況などの情報が得られた場合は、「トレーシングレポート」にその内容を記載していただき、薬剤科までFAX(0465-34-3102)をお願いします。

(「トレーシングレポート」は当院ホームページからダウンロードしてください)



レジメン・トレーシングレポート

がん化学療法担当からのメッセージ

安全・安心な抗がん剤治療が提供できるよう心がけています。地域連携を通じて患者満足度、質の向上に努めて参りますので、情報共有へのご協力をよろしくお願い致します。また、保険薬局の先生方を対象としたがん化学療法に関する研修会を年3回程度予定していますので、ご参加をお待ちしております。



副薬剤科部長
青木 英也
(あおきひでや)



主任薬剤師
村山 晴夫
(むらやまはるお)



がん化学療法
看護認定看護師
種市 亜澄
(たねいちあすみ)